

# ゆのはな

**BRCだより** VOL.1  
2015. 9. 1

すべての人が地域で幸せに生活できる社会の実現  
～Be true to Rehabilitation～

## 私たちの取り組み

社会福祉法人 農協共済  
別府リハビリテーションセンター  
病院長

青野 只明



今年度4月より別府リハビリテーションセンターの回復期リハビリテーション病棟の統括管理責任者として病院部門の院長（副センター長）に就任しました青野です。

当センターは、「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」を理念のもと、医療・福祉・介護の3つの大きな柱で社会貢献に取り組んでおります。その中でも、医療事業の中心である回復期リハビリテーション病棟は、別府市内はもとより大分県内外の急性期病院とも連携をとり、脳卒中や頭部外傷、大腿骨骨折や脊髄損傷などにより身体や脳の機能に障がいをもった方々を対象に、社会復帰へ向けたリハビリテーション医療を提供しております。

ベッド数116床を有し、日本リハビリテーション医学会リハ専門医3名、リハ認定臨床医2名、整形外科専門医1名、脳卒中専門医1名、神経内科専門医1名、呼吸器専門医1名を配置し、急性期病院からの迅速な受け入れに対応できる体制を整えております。

リハビリテーションの実際については、病棟ごとにユニット制を導入し、多職種での連携を強化し、より機能的なチーム医療の実現を推進しています。また、入院時訪問調査や家屋調査、サービス担当者会議等への参加や退院時指導などの情報提供を積極的に行い、入院時から退院後の地域との連携も重視して一貫的に取り組んでおります。

スタッフ一同、高い意欲と情熱をもって知識や技術の研鑽をはかり、みなさまに安心安全で本物のリハビリテーションを提供できるように貢献して参ります。

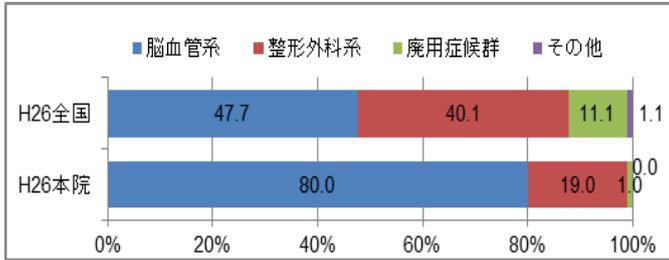
今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



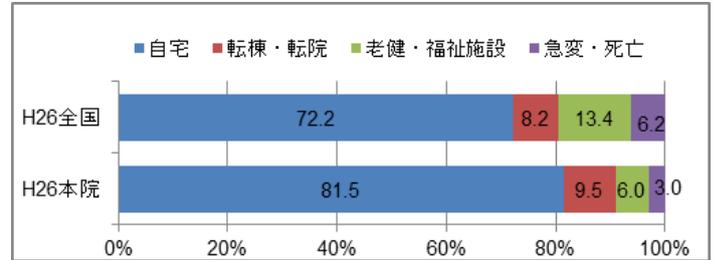
# 回復期リハビリテーション病棟に関する実績と全国比較

\*実績：平成26年度実績

## 原因疾患割合

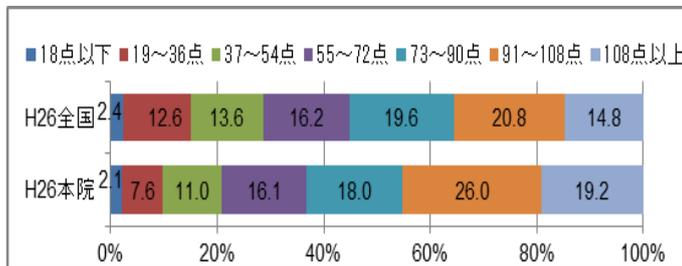


## 退院経路

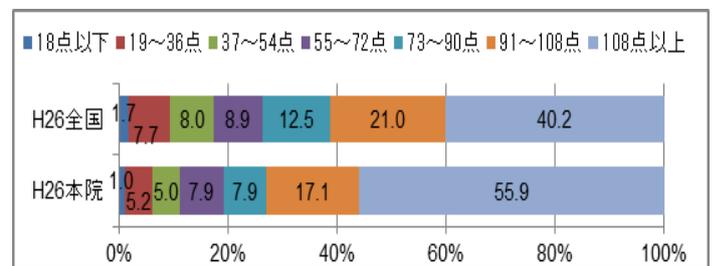


## FIM (機能的自立度評価)

### 入院時



### 退院時



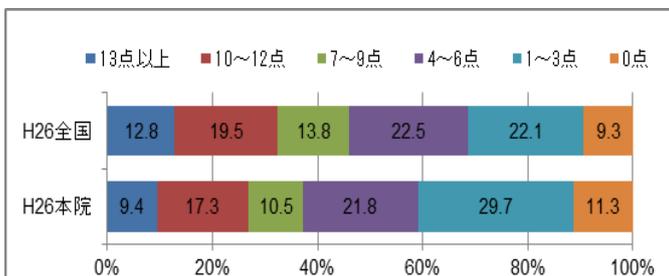
機能的自立度評価 (FIM; Functional Independence Measure) とは

この評価は、主に介護量を測定するもので食事や整容などの「運動ADL」13項目と、社会的交流や記憶などの「認知ADL」5項目を、介護量に応じて7段階、126点満点で評価します。米国での研究において信頼性と妥当性が検証されており、我が国でも医療や介護の分野などで幅広く活用されています。

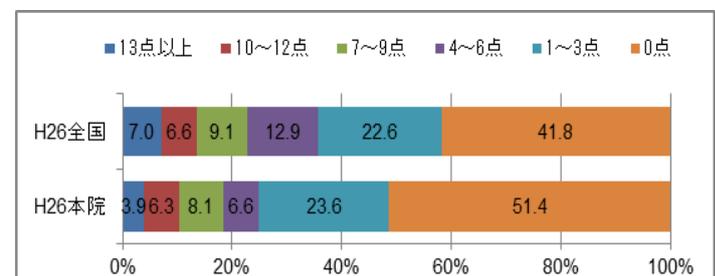
\*ADL (日常生活動作: activities of daily living) / 食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと。

## 日常生活機能評価

### 入院時



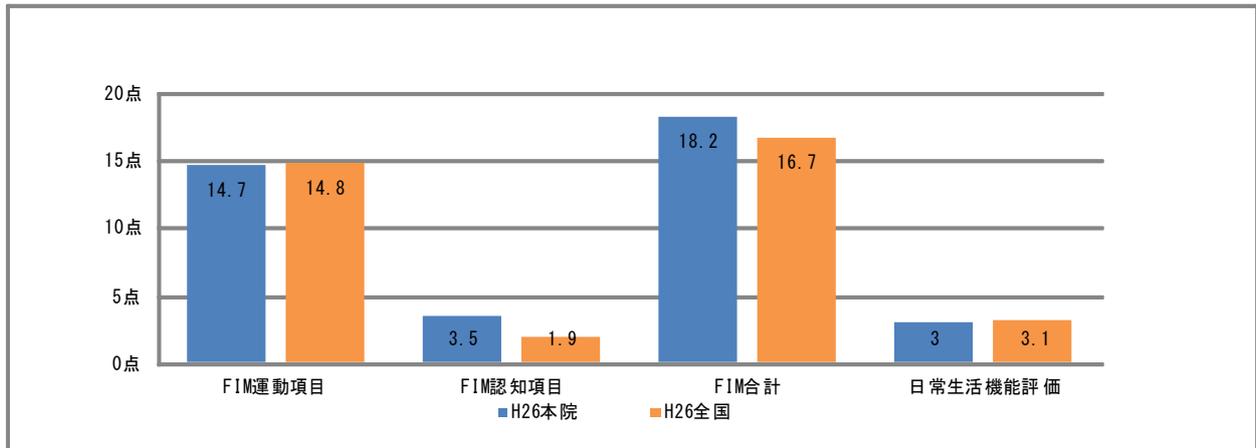
### 退院時



日常生活機能評価とは

この評価方法は、入院患者の日常生活自立度を測定するもので、起き上がりや移乗・食事摂取などの13項目を「できる」・「できない」・「一部介助があればできる」などの状況で評価し点数をつけます。合計点数の最大値は19点で、点数が低いほうが“自立度が高い”と評価されます。

## ADL（日常生活動作）利得の平均値



- ◆ 当センターでは、脳血管系の疾患の方が全国と比較して多くなっています。
- ◆ FIMに関しては利得（改善度）が全国と比較して高くなっています。
- ◆ 一方で日常生活機能評価は全国平均と変わらず、FIMの利得が高くても看護・介護の負担軽減につながっていない点が今後の課題と思われます。

## 入院患者分布内訳

県別	
項目	人数
大分県	508
福岡県	10
宮崎県	2
長崎県	2
熊本県	1
鹿児島県	1
沖縄県	1
愛媛県	0
合計	525

市町村別			
項目	人数	項目	人数
別府市	216	津久見市	10
大分市	81	豊後高田市	9
中津市	38	玖珠郡	7
杵築市	32	由布市	5
宇佐市	27	豊後大野市	4
速見郡	26	竹田市	4
国東市	21	日田市	1
佐伯市	14	東国東郡	1
臼杵市	12		
合計		合計	508

## TOPICS

7月21日・8月6日

## Bカフェ オープン!!

B病棟にて『B棟カフェ』を開催しました。

毎日訓練を頑張っている患者様に、ホッとできるひと時を過ごしていただきたい・・・というスタッフの思いから、カフェを開店！病棟にコーヒーの香ばしい香りが漂い、次々と患者様が来店されて、コーヒーや紅茶を楽しみました。患者様から「おいしかった」「大変楽しい時間を過ごすことができました」などの声をいただき、好評でした。

今後も、楽しく過ごせるイベントを開催していきます！



## TOPICS

# 病棟主催 夏のおたのしみイベント

7月7日

# 七夕会

7月7日の夕方、七夕の日になんでイベントを病棟で行いました。例年はA・Bの二つの病棟合同で行っていましたが、今年は各病棟ごとの開催となり、それぞれの特色が活かされた内容となりました。

A病棟では、職員が猛練習を重ねたハンドベルによる「きらきら星」「たなばた」の演奏と、入院中の患者様による詩吟が披露されました。最後に職員のフルート演奏に合わせ「見上げてごらん夜の星を」「星にねがいを」を参加者全員で歌いました。

B病棟では、職員と有志による「いい日旅立ち」「小さな世界」のフルート演奏と、職員による手品・バルーンアートが披露され、最後にフルートの音色に合わせて「七夕さま」「見上げてごらん夜の星を」の合唱を行いました。



スタッフによるフルート演奏会の他、入院患者からは詩吟披露も行いスタッフ・患者一体となった七夕会でとても楽しく過ごせました。リハビリの為に別府リハビリテーションを選んで良かったと思いました。  
(A病棟 40代男性)

フルート演奏の音色は大変すばらしく合唱も素敵な音色に合わせてみんなで歌い大変よかったです。バルーンアートではおり姫様と彦星様の作品の出来栄にびっくりしました。本当にありがとうございました。  
(B病棟 60代女性)

## 「家族教室」のごあんない

回復期リハビリテーション部在宅支援委員会では、入院患者様とご家族を対象に「家族教室」を開催しています。2か月に1回の予定で、テーマは「栄養」「福祉用具」「介護保険」「オムツ・スキンケア」など、退院後の生活ですぐに役立つ内容となっています。

7月25日に「栄養」をテーマに第1回が開かれ、30名の参加がありました。会場からは積極的な質問があり、「分かりやすい内容だった」「また参加したい」などの声が寄せられました。

今後も以下の予定で開催していきます。詳細な内容は院内掲示のポスターにてお知らせ致します。

●第2回 9月26日(土) ●第3回 11月28日(土)

## 各施設のご案内

- ◇ 病 院
- ◇ 障 害 者 支 援 施 設 < に じ >
- ◇ 相 談 支 援 事 業
- ◇ 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 所 < み の り >
- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < ふ れ あ い >
- ◇ み ょ う ば ん ク リ ニ ッ ク
- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < み ょ う ば ん >
- ◇ 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所 < あ お そ ら >

## 編集後記

就職して早10数年。大げさに言えば人生で初めて広報というものを担当しました。K編集長を中心にチームで和気あいあいと楽しく関わる事が出来ました。

今後もリハビリセンターチーム「ゆのはな」に期待あれ！ (ケメ子)

発行： 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価認定機構 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL0977-67-1711 FAX0977-67-1712 <http://www.brc.or.jp>